



温泉療養指導士宮尾の

明日の健康コラム

オアーズのおうち温泉

検索



第2話

「海外の温泉事情」

皆様こんにちは。春が近づいてまいりましたね。

実は松代はあんずも有名です。今が見頃ですので近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。 ※右画像：東条のあんず畑から北アルプスを望む

さてさて今回は海外の温泉事情について触れたいと思います。

「日本人＝温泉好き」というイメージがあるかと思いますが、日本の様に一泊二日という短期型やレジャー要素が多い利用方法ではなく、海外の方が「療養」という色が濃い利用方法となっています。主にヨーロッパでは、長期滞在型の療養及び保養施設として確立しているところが多く、社会保険の適用もあるそうです。なんと広大な敷地の中には、入浴のみならず、カジノやコンサートホールがあるところもあるそうです。また、多くの施設で温泉水を飲む「飲水」が行われており、心身ともにリラックスしながら幅広い療養が可能となっているそうです。（2週間や3週間休んで療養できるなんて羨まし過ぎる…）

日本もゆっくりのんびりと温泉地で保養が気軽にできる時代になればいいですね！

先ほど話の中に登場した「飲水」ですが、直接温泉水を体内に取り入れる事で、からだの中から代謝を促進するため、非常に効果的と言われております。ただ、雑菌や重金属類の問題もあり、どこかの温泉でも飲用に適しているとは言えないのが現状です。

弊社では人工的で安全に飲水ができる飲水サーバーや家庭用の商品もありますので、ご興味がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。



4/2 宮尾撮影 まだつぼみが多かったです

知らなきゃ損？

ちょっと気になる話。



第1話

「水のおはなし」 その3

会社の裏手にあるお寺さんで紅白の梅が綺麗に咲き誇っておりました・・・長野県もやっと春を実感できる季節となりました。

第3回となったお水の話ですが、今回は、浄水器の中に使われているセラミックスについて言及してみたいと思います。

セラミックスとは、おおざっぱに表現すると粘土とその他の鉱物の粉を混ぜ合わせて、造粒（球状に成形すること）し、800℃～1200℃位の温度の窯で焼いたものですが、

- ・混ぜ合わせる鉱物や、その組み合わせ（金属を使う場合も・・・）
- ・鉱石粉の細かさ（砂粒大から粉砂糖、片栗粉、それより細かい場合も）
- ・焼き加減（温度と時間、温度をゆっくり上げるか、すぐに上げるか）
- ・焼くときの雰囲気（空気が入る窯か、炭を焼くような窯か）

これ以外にも、製造時に使う水や窯の熱源（薪、ガス、電気）の違いなどでも出来上がった製品はまったく違った性質を持つものになってしまうことがあります。



とある日の雲・・・不思議な形の雲ですね。

今回、ある鉱石でセラミックスの試作品を作り、防錆の試験を行ってみました、下に画像を貼っておきますが、まったく同じ条件で、水だけ、鉱石だけ、鉱石をセラミックス化したもので25日間放置後の比較をしています。

錆びにくいってことは、人間の体の中に入っても酸化物を作りにくいってことで、美容、健康には良い方向に働くと思われますよね・・・。

～それでは次回に続きます・・・

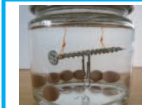
お楽しみに！！



水道水のみ



水道水 + 鉱石



水道水 + セラミックス



水道水 + セラミックスのクリップだけ錆がみられません！！